

いわみざわ 市議会だより



決算審査特別委員会



企業会計決算審査特別委員会

平成 20 年

第 4 回定例会

- 岩見沢市有明交流プラザ条例 ⇒ 原案可決
(市民の幅広い交流の促進と市民生活の質的向上、地域社会の活性化のために)
- 岩見沢市自転車等駐車場条例(駅舎に隣接して開設) ⇒ 原案可決
- 雇用確保とよりよい労働環境の整備を求める意見書他 6 意見書 ⇒ 原案可決

平成 20 年 第 4 回定例会が、12 月 8 日から 19 日までの 12 日間の会期で開催されました。

今定例会には、岩見沢駅舎に来春開設する複合公共施設「有明交流プラザ」に関する条例案、自転車等の放置の防止に関する条例案のほか、社会教育施設の指定管理者を定める議案など、全 45 議案が提案されました。

招集日には、閉会中に審議された 19 年度の各会計決算の審議結果報告が行われ、採決の結果、認定されました。

一般質問は 9 人の議員によつて 3 日間行いました。

最終日には、12 月 9 日に急逝された山田由利美議員の追悼演説が行われ、岩見沢市消防事務組合議会議員の補欠選挙を行いました。

また、提案された議案については採決の結果、原案のとおり可決され、意見書案 7 件も原案のとおり可決されました。

なお、原油高騰対策と福祉灯油の充実を求める請願が提出され、閉会中の継続審査となりました。

審議結果及び陳情状況は 7 ページを 8 ページをご覧ください。

市政に対する質問から

今日の問題、明日への課題

第4回定例会では、9名の議員が演壇に立ち一般質問を行いました。掲載した質問項目は、それぞれ発言のあつた中から一項目を選んで、その要旨を掲載しています。また、各質問者の最後の部分には、そのほかに質問した項目名のみを記載しています。

一般質問

渡辺市政2期目を振り返り、前半の市政運営を顧み今後に向けての所信について

平成クラブ

問 渡辺市政二期目を既に振り返りましたが、この2年間を振り返り今後に向けての市政運営の考え方。

市長 一期目に引き続き「市民が主役の行政」を基本とし

て「人にやさしい温かいまちづくり」をさらに目指した、市民生活の安全確保、経済・雇用対策、子育て支援を初めとする市民福祉の向上と、健康や生きがいづくり、環境保全など、市政全般にわたって確実に積み重ねてきた。

市政運営では、真の市民参画型行政の視点と、合併を契機として新しいまちづくりへの基盤づくりの視点を重視してきた結果、市政のさまざまな分野で一定の成果を上げることができた。

これは道内都市の行政サー



第4回定例会

ビス評価が総合で4位という先日の新聞記事からもうかがえ、子育て環境分野ではトップに位置づけられて、2年間の行政サービス向上の努力の結果と考える。

厳しい財政環境のもと、地方自治体にとっても経済社会や市民生活混迷を背景に非常に厳しい時代が続く、残り任

期2年間を切ったが、初心を忘れず、さらなる「人にやさしい温かいまちづくり」の推進を図り、新しい岩見沢市の都市像「人・地球が輝く緑と活力に満ちた文化都市」実現を目指して、新総合計画に示されたまちづくりの基本施策を着実に前進していきたい。

【そのほかの質問項目】

- ① 2009年度予算編成方針について
- ② 西友岩見沢店の撤退問題について
- ③ 地域福祉計画の策定について

市財政の現状と課題について

平成クラブ

問 地方財政を取り巻く状況の厳しい中、市民からも、「岩見沢の財政は大丈夫なのか」という声を聞くが、市の財政状況について、①全国ではどのような位置づけにあるのか。②道内では比較的良好とされているが、具体的な評価は。

市長 ①現在、約1800の市町村のうちで、人口、面積



有明交流プラザ

やそれぞれ行政区域として特徴を持つ形態では、どの位置かの判断は一概には難しいが、一つの目安として、日本経済新聞社がまとめた全国782都市の平成19年度普通会計決算ベースの比較では、一般財源に占める市税等の割合を示す財政力指数は655番目、人件費や扶助費、公債費など経常的経費に占める一般財源の割合を示す経常的収支比率は315番

目、義務的経費の比率は213番目、人件費比率は37番目、標準財政規模に占める積立金の割合は113番目の位置で、総体的にはおおむね中位程度と認識している。

②道内35市の指数で比較すると、財政力指数では20番目、経常収支比率では14番目、実質公債費比率では13番目、人件費比率は9番目、一般会計や企業会計、一部事務組合、第三セクターを含めた借入金や、将来払う負担等の残高の割合を示す将来負担比率は2番目という状況で、義務的経費である人件費割合は低く、経常的経費に占める一般財源の割合を示す経常収支比率が比較的上の位置からして、財政の弾力性が高く、道内では財政の健全性は高い位置と認識する。

【そのほかの質問項目】

- ①西友の撤退と中心市街地の活性化について
- ②職員の健康管理について

定額給付金について

公明党

問 政府・与党は、景気後退の緊急対策に、年度内に定額給付金の実施を決定したが、10年前の地域振興券と比べて、①事務処理上の違いは。②受給対象者の人数と金額の違いは。③どのような経済効果を期待できるのか。

市長 地域振興券は平成10年の緊急対策の一環として、15歳以下の児童のいる世帯や



渡辺市長答弁

低所得の65歳以上の高齢者、老齢福祉年金受給者に商品券方式で各自自治体が交付した。①現時点での一番大きな違いは、支給が商品券なのか現金なのか、対象者が一部限定か全世帯なのかである。

また、地域振興券は地域限定のため、市の窓口などで職員が直接渡し、地元商店事業者が市に換金手続きを行ったが、定額給付金は現金支給で、基本的には申請者の世帯主の口座振り込みとなる。

所得制限は、定額給付金はいま現在、市町村任意で所得1800万円を下限に設け、地域振興券は、15歳以下の児童を除く対象者が市民税非課税者であった。

②受給対象人数は、地域振興券は2万2380人であったが、定額給付金は全世帯とした場合、平成20年11月現在で約9万1700人、4万2000世帯が対象になる。

給付総額では、地域振興券の4億4600万円に対し、定額給付金は約3倍の14億1000万円と見込む。

③経済効果としては、どれだ

け地域内で消費に回るかで、地域を含めた経済効果判断の一つの目安になると思う。

【そのほかの質問項目】

- ①緊急経済対策、中小企業支援について
- ②雇用対策について
- ③学校支援制度について
- ④ボランティア活動支援について
- ⑤市民の交通手段確保について

地元農産物の消費拡大について

無所属

問 ①農産物の消費拡大に向けた地元、道内及び首都圏での具体的な取り組みの評価について。②地元農産物の消費拡大に向けた展望について。

市長 ①地元においては、学校給食では学校、保護者の方々、関係者のご理解、ご努力によって、米食、パンなど、100%地元産の使用が進んでおり、市内の大型スーパーなどで地元農産物を取り扱っている「地産地消コーナー」



いわみざわ農産物フェア(大山商店街)

がふえる傾向が見られ、また、釧路市との産地交流は、産地にしかない地場産品の購入機会が得られ、両市の経済交流は期待されている。

首都圏でのPR・販売も大変好評を得ており岩見沢産農産物のおいしさ、新鮮さに加え、安全、安心に生産されていることを認知してもらえ、機会が得られ、さらに、農協職員や生産者の方々にも参加してもらったことで、都市の消費者の反応やニーズなども感受し生産に生かされていく

ものと思っっている。
 ②地元での消費拡大においては、地場農産物をもっと扱ってもらえる状況や、製品化に向けて、農業者と商工関係者と連携を深めることが重要で、市としても、仕掛けづくりを推進したい。

また、道内については、釧路市においても、まだまだ市場確保までは至っておらず、経済活動を充実させていくことが重要であり、お米の生産が行われていない地域への消費拡大を進め、首都圏についても、イベント開催で得られたことを生産者や農業団体に反映させていくことが重要で、来年度も大山商店街でのイベント販売の実施をするともに、常設販売を踏まえた都内での販売を確保し、意欲のある生産者や付加価値化に取り組んでおられる方々を支援したいと考えている。

市としては今後とも、消費拡大に向けたきつかけづくりや環境を整えていくことをしっかりと取り組んで、関係機関との連携を図り、農業を1.5次産業に発展させ、所得の向

上を図っていくことが重要であると考えている。

【そのほかの質問項目】

- ① 定額給付金に関する市の対応について
- ② 文部科学省の学校支援地域本部事業について
- ③ 学力テストについて

中心市街地活性化について

市民クラブ

問 岩見沢市中心市街地活性化基本計画が、今年11月11日に内閣総理大臣の認定を受けたが、①今回の基本計画の認定について、市長はどのように受け取っているか。また、支援が見込まれる予算額ほどの程度なのか。②基本計画の事業の進め方とその課題について。

市長 ①まちづくりに対する岩見沢市民全体の熱意が通じたものと大変うれしく思うとともに、今後は、官民一体となつて、計画に盛り込まれた一つ一つの事業を確実に実行し、活性化につながるよう市

としても一層の努力をしたい。また、事業に対する支援の総額の予定は、事業主体がさまざまで、個々の事業内容については固まっていけないものもあり、固まり次第、順次、明らかにしたいと考えている。

②中心市街地活性化事業は、まちづくり全体につながる重要な取り組みであり、国からは官民が連携して、事業の実施が求められている。

そのことから、岩見沢市中心市街地活性化協議会の役割は非常に重要であり、市は協議会と連携し、設定した目標

の達成、ひいては中心市街地の活性化につなげたい。

協議会が民間によるまちづくりの司令塔として、マネジメント体制を構築していくことが重要であり、商業の活性化のための事業など、民間が主体的に行う事業は半数以上あり、この民間による事業計画が円滑かつ確実に実施されるときにも、さらなる民間事業の積極的な提案の機運が醸成されることが必要であると

- 考えている。
- 【そのほかの質問項目】**
- ① 金融制度について
 - ② 新型インフルエンザについて

合併協定による調整項目の進捗状況について

市民クラブ

問 生活の足となるバス運行の一元化として、スクールバスや福祉バス路線を岩見沢市内まで循環して利便性を高めるか、民間運営による福祉タクシーの運行をさせるなどの検討をしては。

市長 生活交通のあり方は、それぞれの地域特性や実情などを考えたさまざまな運行形態、運行方式があるものと思っており、スケールメリットを生かしたバス路線のあり方は、これからの社会環境には必要なテーマであると考えている。

市直営バスの循環方式や福祉タクシーなどの導入は、一方で民業を圧迫するのではないか、路線バスの減便、廃止につながるのではないかと、費用対効果はどうか、なかなか難しい問題でもある。



中心市街地



市営万字線バス

岩見沢市におけるこれからの公共交通のあり方は、生活交通全般にわたって検討していかねばならない時期に来ており、総合的なまちづくりの視点も含めた大きな観点で、課題解決に向けた努力をしたいと考えている。

【そのほかの質問項目】

- ①平成21年度予算編成について
- ②福祉政策の見直しの進捗状況について
- ③農業の振興策について
- ④農地の流動化対策について
- ⑤教育行政について

平成20年度除排雪事業について

市民クラブ

問 除排雪事業は、市民全員が対象となる極めて重要な事業であると考えているが、市長の認識と、平成20年度の除排雪事業に対する基本姿勢は。
市長 冬期間における安全・安心な市民生活の確保のため、除排雪事業は、冬期間を快適に過ごす上で極めて重要であ



ると認識する。

本年度も24時間体制の除排雪対策本部を、11月10日に設置し、除排雪全般にわたる計画と実施を進めている。

本年度の重点目標は、歩行車の安全を最優先とし、車歩道除雪・排雪の充実を図ることや、除雪作業者の効率的配置によりスピード化を図り、交通の確保と安全対策に努めたい。

また、本年2月の暴風雪災害の経験を踏まえ、気象情報を的確に把握し、関係機関と

の連携を図りながら、暴風雪時における迅速な対応と、危機管理体制の充実を図ることを最重点とした。

今後も地域の安全と市民生活の安心を高める事業として取り組んでいくが、極めて厳しい財政状況の中、予算の限界もあることから、地域のご協力をいただく自主排雪制度利用地区の拡大・促進を図っていきたい。

【そのほかの質問項目】

- ①教職員の業務の多忙化と縮減の取り組みについて
- ②新学習指導要領と教育課程の編成・実施について

JAいわみざわ地域農業振興センターについて

平成クラブ

問 ①センター設立の目的と機能についての基本的な認識は。②センターの体制と活動状況は。③地域農業者の意向把握は。④地域農業者や関係機関の評価についての認識は。⑤センター活動の課題や今後の取り組みは。

市長 ①力強い農業を実現させるため、行政や農業団体など10団体が一体的な取り組みを行う組織を構築し、農業者をしつかりと支え、真の基幹産業としたい。

②組織体制は所長、次長に、担い手課、法人課の二課体制として、所長はJAいわみざわ職員、次長は北海道庁からの職員が配置されており、担い手の農業経営の安定、認定農業者の育成支援及び農業経営の組織化、法人化の三つの

業務を柱としている。
③農協各支所の職員を地域サポートチームとして、窓口対応を行っているが、地域の実態や抱えている課題、農業者の意向などを的確に把握するための取り組みが必要であるとともに、生産者に対する情報提供を充実することが大事だと認識している。

④今の段階で事業の成果などを見きわめることは難しく、相応の時期が来たら一定の評価がされるものと思う。
⑤地域農業の抱えている農業の課題を踏まえて、法人化への支援や後継者対策、所得向上対策への支援などに取り組みむことが必要と考えている。

【そのほかの質問項目】

- ①酪農業の振興について
- ②国民健康保険の滞納整理に伴う資格証明書について
- ③市内にある各種記念碑等について



「派遣切り」など深刻な雇用問題について

日本共産党議員団

問 国の「非正規切り防止」の通達が適正に行われるように、市独自の周知が必要では。また、岩見沢市での派遣切りなどの適切な実態把握に努めるとともに、地方から岩見沢市に戻ってきた人たちに對する雇用の確保も必要では。

市長 道内においても、雇用情勢は極めて厳しい状況であることから、岩見沢市では、平成19年度から地域雇用創出推進事業で、地域の雇用の創出や促進に努めている。

その一環として、求職者のスキルアップにつながる各種セミナーの開催など、人材育成に向けた取り組みを積極的に進めるとともに、本年3月に開設した就職サポートセンターを活用して、就職者への各種情報提供やカウンセリング、各種相談への対応に取り組んでいる。

国では、厳しい雇用情勢に対応するため、「新たな雇用

対策について」を発表したが、市としてもこれら国の施策の積極的な取り組みを図り、引き続き労働局やハローワーク、さらには地元経済団体などの関係機関と連携を図りながら、地域の雇用情勢の改善に努めていきたい。

【そのほかの質問項目】

- ①西友撤退問題と中心市街地の活性化について
- ②資格証明書について
- ③市営住宅について



就職サポートセンター

大綱質疑

提案された議案は、本会議場で議案に対する大綱質疑の終了後、各常任委員会にそれぞれ付託されました。

ここでは大綱質疑の内容をお知らせいたします。

【自転車等駐車場条例の設定】

問 料金設定について、学生の料金に、さらなる配慮が必要ではないかと考えるが、今回の料金設定に至った基本的な考え方。

市長 屋内自転車駐車場は、屋外よりも維持管理費が多くなることから、受益者負担の原則から設定したが、全国平均や札幌市よりも低く設定している。

学生の料金については、その3分の2で、十分な配慮をしている。

【平成20年度一般会計補正予算】

問 原油高騰対策について、前年に比べ前進している部分もあるが、まだまだ住民の要望とはかけ離れている部分がある。



原油価格高騰支援金申請窓口

あると思うが、原油高騰対策への基本的な考え方。

市長 実施する原油高騰対策としては、中小企業への融資制度を拡充し、融資総額10億円規模の経済対策、肥料値上がり対策として、土壌分析の助成を拡大するなどの農業対策、さらには灯油価格が下落傾向にあるが、食料品などの価格上昇も勘案して、高齢者の対象範囲を、夫婦世帯などに拡大し、昨年と同額を支給することとした弱者対策の三つの分野にわたる対策を実施する。

他都市行政調査 実施状況

議会運営委員会

◎期日 11月18日～21日

◎調査市及び項目

【福岡県春日市】

【大分県日田市】

【香川県観音寺市】

・議会運営に係る事項

・議会改革等に係る事項



春日市議会：全員協議会室

岩見沢市議会のホームページを開設しています

市議会の情報を随時お知らせします。また、ホームページから、本会議の会議録の検索を行えます。

<http://gikai.city.iwamizawa.hokkaido.jp>

議会を傍聴しませんか

平成21年第1回定例会は3月開催の予定です。

市議会は、どなたでも傍聴できますので、会議の当日、傍聴者入口（市役所3階）で傍聴受付票を投函のうえ、傍聴規則に従って入場願います。

なお、団体で傍聴を希望される際には、あらかじめ議会事務局にご連絡をお願いいたします。

（お問合せ先：23 - 4111 内線 462）



傍聴する市民

審議の結果

第4回定例会

会期：12月8日～19日（12日間）

【条例の設定】

- ◎市有明交流プラザ条例
- ◎市自転車等の放置の防止に関する条例
- ◎市自転車等駐車場条例
- ◎市自転車等駐車場条例
- ◎一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

↓ 原案可決

【条例の一部改正】

- ◎市税条例
- ◎市国民健康保険条例
- ◎市病院事業の設置等に関する条例

↓ 以上、原案可決

【指定管理者の指定】

- ◎上幌地区集会所
- ◎茂世丑地区集会所
- ◎東豊地区集会所
- ◎万字地区集会所
- ◎宮村地区集会所
- ◎弥生ヶ丘地区集会所
- ◎最上北栄地区集会所
- ◎西地区集会所
- ◎由良地区集会所
- ◎必成地区集会所
- ◎岐阜地区集会所

- ◎栗丘地区集会所
 - ◎浄安殿
 - ◎岩見沢市栗沢福祉団体活動センター
 - ◎高齢者福祉センターふれあい
 - ◎高齢者福祉センターえみる、北村デイ・サービスマスター及び北村生活支援ハウス
 - ◎栗沢デイ・サービスマスター及び美流渡デイ・サービスマスター
 - ◎岩見沢市万字診療所
 - ◎岩見沢市美流渡歯科診療所
 - ◎岩見沢市緑が丘霊園及び利根別墓地等
 - ◎農業気象施設（情報利用センター（栗沢町）、砺波観測所、岐阜観測所及び上幌観測所）
 - ◎岩見沢市イベントホール、駅前市民広場公園及びコミュニティ東駐車場
 - ◎岩見沢市テレワークセンター
 - ◎岩見沢市コミュニティプラザ及び岩見沢市自治体ネットワークセンター
 - ◎岩見沢市新産業支援センター
 - ◎あやめ公園、利根別自然公園及び利根別原生林ウォーキングセンター
 - ◎東山公園、鳩が丘記念緑地、北海幹線用水路鳩が丘緑地、北海幹線用水路並木町三角緑地及び北海幹線用水路駒園緑地
 - ◎玉泉館跡地公園
 - ◎幾春別川リバーパークパークゴルフ場及びひょうたん沼交流広場公園
 - ◎いわみざわ公園
 - ◎岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンター
 - ◎岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プール
 - ◎岩見沢市栗沢文化センター
 - 【その他】
 - ◎市土地開発公社定款の一部改正
 - ◎住居表示の実施区域及び方法
- ↓ 以上、原案可決
- 【平成20年度補正予算】
 - ◎一般会計（第3号）
 - ◎特別会計介護保険費（第2号）
 - ◎市病院事業会計（第1号）



議員 山田 由利美氏
逝 去

岩見沢市議会議員でありました山田由利美氏(56歳)が、12月9日逝去されました。同氏は、平成15年に市議会議員に初当選以来、通算2期にわたり市政の進展に寄与されました。ここに、慎んでご冥福をお祈りいたします

◎一般会計(第4号)

↓ 以上、原案可決

【平成19年度決算】

◎一般会計及び各特別会計決算

◎病院事業会計決算

◎水道事業会計決算

◎下水道事業会計決算

↓ 以上、認定

【選挙】

◎岩見沢地区消防事務組合議会議員の補欠選挙

↓ 当選(伊澤幸信氏)

【意見書】

◎雇用確保とよりよい労働環境の整備について

◎国有林の二分化は行わず国の管理運営体制の堅持による基本計画の推進について

◎農業生産資材の高騰対策及び米の集荷円滑化対策について

◎「安心実現のための緊急総合対策」について

◎「食の安全確保」への取り組み強化について

◎安心の介護サービスの確保について

◎「混合型血管奇形」の難病指定について

↓ 以上、原案可決の上、関係省庁に送付

【請願】

今定例会で受理した次の請願は、所管の民生常任委員会と経済常任委員会に付託され、閉会中継続審査することになりました。

◎原油高騰対策と福祉灯油の充実について

請願者・原油高騰対策と福祉灯油の充実を求めめる会

↓ 閉会中継続審査

一口用語
付託(ふたく)

議会の議決を要する事件について、議決に先立ち詳しく検討するため、所管の委員会に審査を委託すること。

【陳情・要望書】

◎国有林の管理経営に関する基本計画(案)の公告・縦覧について

◎「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定を求める意見書採択について

◎介護療養病床廃止の中止を求める陳情書について

◎平成21年度税制改正及び行財政改革に関する提言について

議会の動き

11月

17日▼経済常任委員会

12月

5日▼議会運営委員会

8日▼第4回定例会開会

▼議会活性化推進委員会

9日▼建設常任委員会

12日▼議会運営委員会

▼議会活性化推進委員会

▼議会活性化推進委員会

▼議会活性化推進委員会

15日▼議会運営委員会

▼本会議(一般質問)

▼議会活性化推進委員会

16日▼本会議(一般質問)

17日▼総務・民生・経済・建設常任委員会

▼議会運営委員会

19日▼第4回定例会閉会

▼議会広報委員会

編集後記

百年に一度と言われているアメリカ発の金融危機は、あつという間に世界中を席卷し、日本でも大幅な景気後退は避けられそうありません。12月議会では、経済不況対策特別資金制度が補正増強されました。西友撤退で、実体経済の急速な悪化が現実味を帯びてきた当市の中小企業の方々にとって、少しでも役立つことになればと思わずにはいられません。

議会休会中に自宅で、山田由利美議員が倒れられ、急逝されました。明るくパワフルで、人情味あふれたお人柄が偲ばれます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今後とも市議会だよりが、市民の皆様の情報の目となるよう努めてまいります。

岩見沢市議会広報委員会

- 委員長 伊澤 幸信
- 副委員長 野尻 清
- 委員 酒井 和子